

電気使用安全月間

8月

8月は高温多湿のため感電や電気事故などの発生が最も多いとされ、通商産業省（現経済産業省）が1981年に「電気使用安全月間」と定めた。電気使用の安全に関する知識と理解を深め、電気事故防止に役立てることを目的とする。電気事故を未然に防ぐためには電気設備の保守・点検が重要で、その点検には「電気」を正しく測定する電気測定器が欠かせない。この電気測定器は複数の測定機能を1台に集約したり、近距離無線通信規格「Bluetooth」を内蔵したりすることで測定の利便性を高めている。

現場測定器 1人に対応

厚生労働省による守、メンテナンスなど、感電とは「電気製の作業現場では手にし品や電気設備の不適切で作業するハンドヘルな使用、電気工事におド型の電気測定器が重いて何かの原因で人体要なツールとして用いもしくは作業機械が送られる。

電線に引つ掛かったこと、漏電の発生および自然災害である落雷などの要因によって人体に電流が流れ障害を受けること」をいう。電気の危険性について意識を高め、電気機器や配線に対する日常の点検・保守管理を励行することが重要となる。

また電気配線や電気器具類には、電気が漏れないように絶縁処理が施されている。漏電はこの絶縁体の劣化や破損、外的要因により電氣的に接続されることで、目的の電気回路以外に電流が流れることを指す。漏電は電力の損失であるばかりか、火災や感電などの原因ともなり得る。

電気設備の施工や保

複数機能、1台に集約

数値化する。赤外線サーモグラフィにより異常発熱の場所を見える化する。

現場測定器はBluetooth」などのワイヤレス技術を取り入れたモデルが増加している。販売コストでは見えない作業効率の向上、省人化など高いメリットを背景に注目を集めている。

こうしたワイヤレス技術を搭載した現場測定器は、現場で測定したデータをスマートフォンやタブレットなどの端末に転送できる。これまで測定者と測定値の記入者の2人が必要とされた現場が、測定者1人で対応可能となる。測定箇所が多い作業場での測定時間短



測定機能を1台に集約したマルチファンクションテスターに来場者から関心が集まる（JECA FAIR2024）

縮や、手入力による記録。載ミスをなくすることができ、レポート作成なども容易に行える。

現場で計測するには展」の製品コンクールで、中小企業庁長官要とされる。作業効率向上のほか、作業者の手荷物負担の軽減が求められる。

共立電気計器はマルチファンクションテスターにBluetoothワイヤレス機能を搭載するだけでなく、竣工検査や保守に必要な電圧と絶縁抵抗、接地抵抗といった測定機能を1台に集約。さらに、別売りの電気自動車（EV）なEVSEアダプターを接続することで、EV普通充電設備（EVSE）に適した検査も可能となる。

竣工検査や保守に必要な
測定機能が詰まった1台！

EVSEアダプタとの併用で
EV普通充電器の試験も
スマートに実施



アプリにもデータが保存できます



マルチファンクションテスタ KEW 6514BT

お客様の声
プールの点検のとき、メガ、アース、漏電遮断試験機をそれぞれ持っていてるけど、これは1台にまとまるからいいな

アプリで機能をカスタマイズできるのはいいね

EV充電器専用のテスト機能は便利



www.kew-ltd.co.jp

くわしくは公式ウェブサイトで確認ください

共立電気計器株式会社